

緑の小径（こみち）

草原をぬけ 種をスカートにつけ
あなたのいえの門まで歩いて行こう
かたわらの池では子鴨（こがも）が泳ぎ
親鴨は木陰でうたた寝をしている

楓（かえで）の緑の種（プロペラ）が
そこにもここにも垂れさがり
つばめがはしこく飛びすぎるなかを
あなたの扉までわたしは進む

もしもあなたがいなければ
あなたが握るまるい真鍮（しんちゆう）のどつてに
ひとつ接吻をのこしていこう

そうしたら今度は
あなたがやってくる

浅い池の上で 枝垂れ柳が揺れるそばをとおり
一列に並んだどんぐりの樹が
掌のように葉を振る道をたどって

棘（とげ）だらけの野ばらの藪で
あなたはわたしのために 白い花を摘みとるだろう
指先からの血で 白いシャツに染みをこしらえながら

あなたは来るだろう
わたしの微笑みに逢うために